震災から15年の広野町で始まる、自然の力に委ねるアートプロジェクト

3月11日「ピアノを自然に還す実験-2」始動

令和８年３月11日（水）、広野町文化交流施設「ひろの未来館」にて、アートプロジェクト「ピアノを自然に還す実験-２」がお披露目されました。

本プロジェクトは、株式会社セイタロウデザインと一般社団法人坂本図書が主体となり、音楽家の坂本龍一氏が最後のアルバム制作に使用したピアノが設置されました。

このピアノは、開館時間内であればどなたでも自由に見学し、実際に触れていただくことができます。ピアノが広野の自然の中でどのように変化していくのか、その過程をぜひ間近で感じてみてください。

「ピアノを自然に還す実験」とは

2014年、坂本龍一氏はニューヨークの自宅の庭に一台の古いピアノを置き、この実験を始めました。人間がつくり出した楽器が、雨風や微生物などの自然の力に委ねられ、長い時間をかけてゆっくりと土に還っていく微細な変化を観察し続けました。

「文明が自然へと回帰するプロセス」を公開・記録する試みは、坂本龍一氏が去った後もその遺志を継ぐプロジェクトとして継続されています。

なぜ、広野町が舞台に選ばれたのか

震災から15年を迎えようとする広野町が、復興の歩みとともに「自然の力」と「人間の営み」の在り方を改めて見つめ直す象徴的な場所であることから、今回の実施場所に選ばれました。

町はこの実験の趣旨に賛同し、場所の提供や地域連携のサポートを行う「協力」という立場で参画しています。旧広野幼稚園を改修した広野町文化交流施設「ひろの未来館」を舞台に、自然と人間、そして時間の在り方を共に世界へ向けて発信していきます。

㈱セイタロウデザイン代表
クリエイティブディレクター・
アーティスト
山﨑（やまざき） 晴太郎（せいたろう） 氏

山﨑晴太郎氏からのメッセージ

このプロジェクトは、坂本龍一氏が最後のアルバム「12」の制作に用いたピアノである、1960年代製のSTEINWAY&SONS Z114（チッペンデール）を自然の中に置き、それが大自然の一部に戻っていく様子を全世界と共有します。美しく磨き上げられ、平均律で調律されていたピアノは、大自然に還っていくなかで調律から解き放たれ、広野町の自然による唯一無二の調律を獲得し、しかしそれもいずれは消えていくことになります。それは決して「壊れていく」ことではなく、文明と自然の間で生まれる新しい「美」の生成過程なのではないかと思います。ピアノが自然に還るまでの膨大な時間に寄り添いながら、人間と自然との関係を再考する。そんな取り組みを広野町の皆さん、そして児童・生徒の皆さんとご一緒出来ればと思っています。

アートプロジェクトの４つの軸

1 「風化」と「生成」を同時に可視化すること。

ピアノが自然に帰る過程には、対極的な二つの時間軸が存在している。通常の調律が崩れ、自然によって新たに〝再調律〟される過程は、「失われていく美」ではなく「自然が与える新たな音響」として捉えられる。この変化を積極的な視点で表現することで、風化＝喪失という固定観念を打破し、自然との新たな関係性を提示する。

2 変容するプロセスに価値を持たせること。

最終形を〝作品〟とするのではなく、生成していく〝過程〟そのものをアート作品と捉えている。時の経過や自然環境による変化を経て、ピアノが風化し、音が変わり続けるその状態が核心であると考える。このプロセスを通じて、「終わり」と「始まり」の両方の意味を持たせ、自然の中で変わりゆくものの美しさや儚さ、そこから始まる新たな美しさを共有することを目指す。

3 時間と自然と人を等価にすること。

時間、自然、人間がそれぞれ主体的に関与し合う構造を創り上げることを目指す。ピアノの設置環境では、自然や経年劣化による〝調律の変化〟が作品の一部として機能し、人間が直接触れたり共有する行為も作品生成の一環となりうる。この多主体的な構図を通じて、自然と人間の関係性を再考し、新たな視座を提示する。

4 地元コミュニティへの形成と接続。

広野の町民や訪問者がピアノの変化を観察し、その過程について意見交換する仕組みを構築する。ワークショップやイベントを通じて地域コミュニティと有機的に結びつき、社会に根ざした作品として展開する。

人々が作品と深く関わりながら「時間・自然・人間の等価性」について考える場を作り出す。地元の広野中学校やふたば未来学園中学校・高等学校の学生の教育に活かすことも想定。

ご覧になる際のご案内とお願い

■ 場　　所　広野町文化交流施設「ひろの未来館」（広野町大字下浅見川字築地73番地１）
■ 展示時間　火曜日～金曜日（平日）：午前９時～午後６時
　　土曜日・日曜日・祝日　：午前９時～午後５時　※施設の開館時間に準じます。
■ 特設ウェブサイト　https://piano-nature2.com/

特設ウェブサイト

Instagram

セキュリティについて

閉館時間はセキュリティシステムが作動するため、館内および敷地内への立ち入りはできません。
展示は必ず開館時間内にお楽しみいただきますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。